



定例記者会見

公的な“新たな形の霊園”のあり方の
研究成果について

「大空港構想」の取組状況について

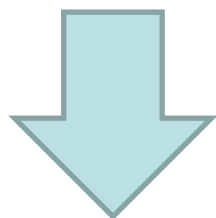


公的な“新たな形の霊園”のあり方の研究成果について

【2期目のマニフェスト】

公的な“新たな形の霊園”のあり方の研究

県民アンケート



これからの墓地行政のあり方等を考える研究会

(有識者や福祉関係者、行政担当者等が参加)

「県民の生涯を通じた安心の実現を目指して」

～ これからの墓地行政のあり方等に係る研究報告書 ～

市町村や県が墓地の問題に対する施策を講じる際の参考指針



研究報告書の概要

これからの墓地行政のあり方

公衆衛生中心の政策から県民の生涯を通じた
「安心を実現する」政策への新たな展開

＜今後の主な展開＞

- ・ 市町村や関係団体へ報告書の内容を周知・啓発し、それぞれの取組みを積極的にバックアップ
- ・ 県民全体の安心感につながる、「生きた証を残す」というメモリアルの実現に向けた更なる研究



「大空港構想」の背景等

(背景)

大交流時代への対応や熊本の100年後を見据え、地域の持続的発展を可能にする基盤・拠点づくりが必要。

(阿蘇くまもと空港地域のポテンシャル)

- 東アジアに近接した九州の中央に位置する地理的優位性
- 世界に誇る阿蘇を背景とした美しい田園風景
- 空港、高速道路IC、鉄軌道など広域・高速交通ネットワークの利便性が高い
- 先端技術産業、大学、レジャー施設等の集積



「大空港」エリアのイメージ

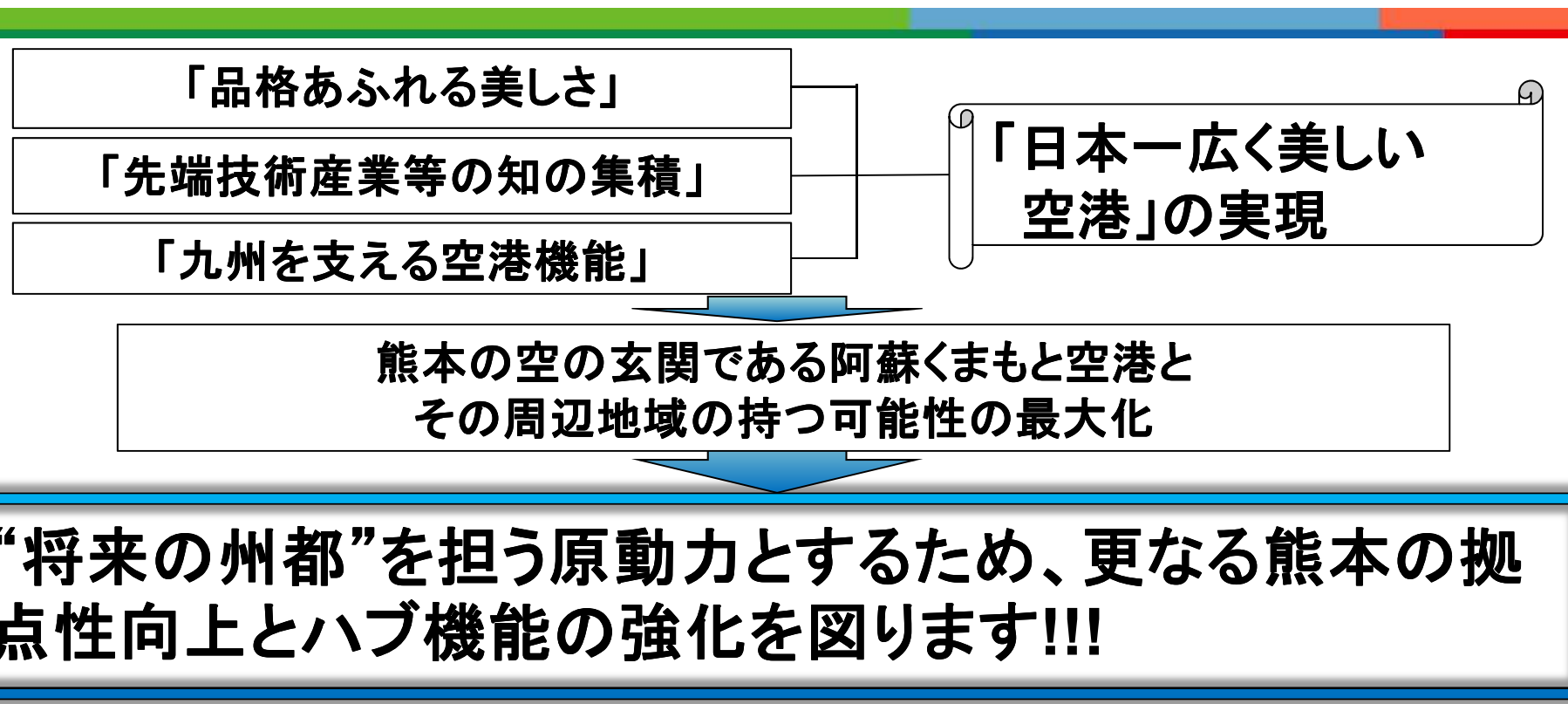
- 阿蘇くまもと空港と周辺地域を一体のものとしてバーチャルな「大空港」エリアを想定。

肥後大津駅を北の玄関、益城熊本空港ICを西の玄関と捉え、空港周辺の多様な資源の可能性を掘り起し、磨き上げ、最大化していく。





「大空港構想」の基本的な考え方





主な取組状況・成果

【戦略1】 東アジア・日本全国との交流拡大

九州とアジアのゲートウェイの一つとして熊本が機能し、外国人来訪者増などによる経済効果を拡大するための取組み

■ ソウル線の週5便化の実現に向けて

- ◆ アシアナ航空へのトップセールス実施
- ◆ 初の連続5日間運航が実現！



■ 台湾・中国などとの新規航空路線の開設に向けて

- ◆ 台湾と過去最大の115便のチャーターが実現！（H25年度見込み）
- ◆ 台湾高雄市と国際交流促進覚書を締結
- ◆ 経済界、県議会とともにチャイナエアラインへのトップセールス実施





主な取組状況・成果

【戦略2】“優しさ”と“美しさ”の向上・発信

空港アクセスの強化等による阿蘇くまもと空港の利用圏拡大や官民連携した空港周辺の魅力向上などへの取組み

■ 空港アクセス強化に向けて

◆ 肥後大津駅と空港ライナーが好調！



■ パイロットのふるさとづくり推進に向けて

◆ 崇城大学と包括連携協定を締結

◆ パイロット養成の一貫した教育体制の確立！

■ 地産地消型のメガソーラーについて

◆ 三菱商事、三菱総研、菊陽町と連携しメガソーラー設置！



■ 美しい空港の演出等について

◆ 景観作物植栽への支援、違反広告物の是正・統一看板への誘導等



主な取組状況・成果

【戦略3】九州全域への貢献

広域的な災害をなどを見据え、熊本が九州全体に貢献できる拠点機能の獲得に向けた取組み

■九州の広域防災拠点に向けて

- ◆「九州を支える広域防災拠点構想」を策定
- ◆内閣府や防衛省等に対し、国の現地対策本部誘致を働きかけ
- ◆駐機場(エプロン)整備や県産業展示場への防災拠点機能強化等

